


事務事業名		文化財調査研究事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目			
	施策名	30 地域文化の伝承と創造								
	基本事業名	01 文化財の保存と活用			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度  ※全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目
根拠法令	文化財保護法			01	10	05	02	13		
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課								
	係名	文化財係	電話	27-3111						
			内線	273						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
・文化財の調査研究を行う事業。主な事業内容は次のとおりである。 ①国史跡内容確認調査(大洞貝塚市外保管出土資料の所在確認調査、下船渡貝塚出土資料の整理。埋蔵文化財調査員(嘱託)が主体的に行う)、②埋蔵文化財緊急調査(開発に伴う記録保存。埋蔵文化財調査員(嘱託)が主体的に行う)、③埋蔵文化財調査員(嘱託)の配置 ・事業費は、埋蔵文化財緊急調査等に支出される。							総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	
									都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
									事業費計(A)	0
							人件費			
							正規職員従事人数			
							延べ業務時間			
							人件費計(B)	0		
							トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標								
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 史跡の市外保管出土資料の所在確認、個人住宅建設に伴う宮野貝塚発掘調査及び発掘調査資料の整理、開発行為に伴う試掘調査、埋蔵文化財調査員(嘱託)1名の配置 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 史跡の市外保管出土資料の所在確認、個人住宅建設に伴う宮野貝塚発掘調査資料の整理、開発行為に伴う試掘調査	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 発掘調査(野外調査・室内整理)件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 発掘調査(野外調査・室内整理)件数	件	イ		ウ
名称	単位							
ア 発掘調査(野外調査・室内整理)件数	件							
イ								
ウ								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 埋蔵文化財等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 埋蔵文化財数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 埋蔵文化財数	箇所	キ		ク
名称	単位							
カ 埋蔵文化財数	箇所							
キ								
ク								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・埋蔵文化財を記録保存(遺物、調査記録などを保存)する。 ・調査報告書を作成し、調査成果を公開する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 発掘調査による出土遺物量</td> <td>箱</td> </tr> <tr> <td>シ 発掘調査報告書を刊行した遺跡数</td> <td>遺跡</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 発掘調査による出土遺物量	箱	シ 発掘調査報告書を刊行した遺跡数	遺跡	ス
名称	単位							
サ 発掘調査による出土遺物量	箱							
シ 発掘調査報告書を刊行した遺跡数	遺跡							
ス								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・保存・活用される。 ・次世代に継承される。								

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">投入量</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円 2,700</td> <td>3,100</td> <td>3,100</td> <td>3,100</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円 826</td> <td>1,550</td> <td>1,550</td> <td>1,550</td> <td>1,550</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円 2,188</td> <td>2,156</td> <td>2,162</td> <td>2,162</td> <td>2,162</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円 5,714</td> <td>6,806</td> <td>6,812</td> <td>6,812</td> <td>6,812</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人 5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間 3,500</td> <td>3,500</td> <td>3,500</td> <td>3,500</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円 14,000</td> <td>14,000</td> <td>14,000</td> <td>14,000</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円 19,714</td> <td>20,806</td> <td>20,812</td> <td>20,812</td> <td>20,812</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>箇所</td> <td>185</td> <td>189</td> <td>185</td> <td>185</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>箱</td> <td>60</td> <td>50</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>遺跡</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)							投入量	事業内訳	国庫支出金	千円 2,700	3,100	3,100	3,100	3,100	都道府県支出金	千円 826	1,550	1,550	1,550	1,550	地方債	千円					その他	千円					一般財源	千円 2,188	2,156	2,162	2,162	2,162	事業費計(A)	千円 5,714	6,806	6,812	6,812	6,812	人件費	正規職員従事人数	人 5	5	5	5	5		延べ業務時間	時間 3,500	3,500	3,500	3,500	3,500		人件費計(B)	千円 14,000	14,000	14,000	14,000	14,000		トータルコスト(A)+(B)	千円 19,714	20,806	20,812	20,812	20,812	⑤活動指標	ア	件	1	1	2	2	2	イ							ウ							⑥対象指標	カ	箇所	185	189	185	185	185	キ							ク							⑦成果指標	サ	箱	60	50	40	40	40	シ	遺跡	1	0	2	2	2	ス													
年度	単位			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円 2,700	3,100	3,100	3,100	3,100																																																																																																																																																			
		都道府県支出金	千円 826	1,550	1,550	1,550	1,550																																																																																																																																																			
		地方債	千円																																																																																																																																																							
		その他	千円																																																																																																																																																							
		一般財源	千円 2,188	2,156	2,162	2,162	2,162																																																																																																																																																			
	事業費計(A)	千円 5,714	6,806	6,812	6,812	6,812																																																																																																																																																				
	人件費	正規職員従事人数	人 5	5	5	5	5																																																																																																																																																			
	延べ業務時間	時間 3,500	3,500	3,500	3,500	3,500																																																																																																																																																				
	人件費計(B)	千円 14,000	14,000	14,000	14,000	14,000																																																																																																																																																				
	トータルコスト(A)+(B)	千円 19,714	20,806	20,812	20,812	20,812																																																																																																																																																				
⑤活動指標	ア	件	1	1	2	2	2																																																																																																																																																			
	イ																																																																																																																																																									
	ウ																																																																																																																																																									
⑥対象指標	カ	箇所	185	189	185	185	185																																																																																																																																																			
	キ																																																																																																																																																									
	ク																																																																																																																																																									
⑦成果指標	サ	箱	60	50	40	40	40																																																																																																																																																			
	シ	遺跡	1	0	2	2	2																																																																																																																																																			
	ス																																																																																																																																																									

事務事業ID	0848	事務事業名	文化財調査研究事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和25年文化財保護法の施行後、文化財の調査研究を行い、文化財の保護保存、普及活用に資するために始められた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年に三陸町と合併し、埋蔵文化財の件数が増えた。 埋蔵文化財保護に対する認識が、一般(行政、住民、開発を行う事業者など)に普及、浸透してきた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の保護は、土地の開発行為を制限するので、不要であるという意見もある。 埋蔵文化財が所在すると、自分の土地でも自由に手がつけられない、何もできないなどの誤った認識が依然として残っている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 埋蔵文化財等の調査研究を行い、その保護保存、普及活用が図られることは、地域文化の伝承と創造のもととなり、豊かな心を育む人づくりの推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 文化財保護法で、公共の関与が示されているため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・対象の埋蔵文化財は、発見された全てが法の規制をうけるので、変えることはできない。 ・意図を縮小すると、埋蔵文化財の適切な保護保存や成果公開ができなくなる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 平成21年度から、埋蔵文化財調査にあたる専門的な知識・技術を有する正規職員1名が加わり、前年度から係員が1名増となった。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 埋蔵文化財が保存されず、失われてしまう。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 博物館の調査研究事業においても、文化財を対象に含めた調査研究が行われている。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 埋蔵文化財の発掘調査は、この事業のみで行っており、博物館の調査研究とは対象が重複していない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 対象となる埋蔵文化財の状況により、ケースバイケースで事業費が異なり、それを一概に削減すると、適正な調査研究ができなくなる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 一般事務職員2名(専任1名、兼任1名)、専門的知識・技術を有する職員2名(専任1名、兼任1名)、嘱託職員1名(埋蔵文化財調査員)が他の文化財事業と並行して事務事業を行っており、これ以上の削減は事業の停滞を招く。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 埋蔵文化財の調査費用は、原因者負担が原則とされている。しかし、調査原因が個人住宅の建設に伴う場合は国県補助が認められ、これに市費を加えて行政が負担している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>・平成24年度においては、個人住宅建設に伴う発掘調査(宮野貝塚)に対応した。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・事業の行い方については、今年度のやり方を維持すべきである。</p> <p>・東日本大震災の発生により、住居・公共施設等の高台移転が求められるなか、候補地に埋蔵文化財包蔵地が多数所在することも考えられることから、25年度は他市からの派遣職員4名、新規採用職員1名、任期付職員2名を配置する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>・埋蔵文化財の保存・公開を図るため、この事業を継続する必要がある。</p> <p>・埋蔵文化財の状況により、ケースバイケースで相応の事業費を調整していく。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適切な事務事業執行がなされている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事務事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
